

指定管理者制度活用事業 評価シート(養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市恵楽園	評価対象年度	平成23年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会 ・代表者名 理事長 佐々木 元行 ・住所 川崎市池上新町3-1-8	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2. 事業実績

利用実績	①養護老人ホーム事業(入所定員140人) 在籍者数 108人(平成24年3月31日現在:入院等不在者を含む)							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	115	115	114	115	116	115	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延べ利用者数	113	111	112	112	110	108		
	②通所介護事業(通所定員 30人/日) 年間延べ利用者数 5,381人:定員に対する稼働率 69.8%							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	延べ利用者数	367	394	402	433	489	521	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	
延べ利用者数	467	473	454	446	459	476		
	③居宅介護支援事業 給付管理者数(平成24年3月分)							
	介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
	管理者数	6	22	10	1	1	5	45
収支実績	①養護 (収入)							
	指定管理料収入	258,306,000					(支出)	
	利用者等利用料収入	0					人件費	126,547,777
その他の事業収入	0					事務費	44,207,447	
合計	258,306,000					事業費	77,046,373	
						合計	247,801,597	
						(収支差額) 10,504,403		
	②通所介護事業・居宅介護支援事業 (収入)							
	介護料収入	49,600,155					(支出)	
	利用者等利用料収入	6,710,150					人件費	38,980,450
その他の事業収入	1,285,662					事務費	3,729,777	
合計	57,595,967					事業費	4,496,473	
						合計	47,206,700	
						(収支差額) 10,389,267		
サービス向上の取組	職員に各種研修や国家資格の取得を推奨するなど職員の資質向上に努めた結果、介護福祉士試験に1人が合格した。 入所者一人ひとりの個別支援計画を作成するなど、個々人のニーズに応じたきめ細かいサービス提供を行った。 日常生活の状況と他者の人間関係に問題が生じないよう情報把握するとともに、嘱託医や看護師、栄養士などと連携して支援を行った。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	質の高いサービスの提供	利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか	×2	4	8
		利用者等への情報提供等は十分に行われているか			
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
感染症対策	感染症への対策は適切に行われているか	×2	3	6	
	(評価の理由) 入所者一人ひとりの個別支援計画をケース会議や職員会議で定期的に見直すことで、きめ細かいサービス提供を行った点や、入所者の意見・要望等に対処した内容について、地域から選出した2名の苦情解決第三者委員に報告するなど情報公開を行った点が評価できる。 感染症の予防接種や健康診断を行い、結果に応じて適切な指導等を行うとともに、感染症について日ごろからの対策、発生した場合の対応等について日常的に会議を重ね、感染した場合は感染症対策マニュアルに沿って適切に対応した。				

収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	×1	3	3
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	×1	3	3
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	×1	3	3
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
(評価の理由) 給食委託業者の変更により給食費が縮減されているが、それ以外はほぼ計画どおりの収支状況となっている。 金銭管理・会計手続については、適正に処理がなされている。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが協定や事業計画等に基づいて適切に提供されたか	×2	3	6
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取り組みがなされているか	×2	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	×2	4	8
意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)					
利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか					
(評価の理由) 給食内容の向上を図るため、食事に関する議題(栄養バランス、食形態、雰囲気作りなど)の意見交換会や検討会を年12回行い、給食の改善を図った点や、非常時の対応として、非常食料及び飲料水を備蓄するとともに、職員に保管場所の周知を図るなど非常時に備えた点が評価できる。 入所者が意見・要望を伝えやすい環境づくりのために意見箱の取り組みを見直し、受けた意見等は本人へ直接返答するとともにホーム会議や掲示板などで回答を行った点が評価できる。					
組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	×1	3	3
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	×2	4	8
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	×1	3	3
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			
コンプライアンス	実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか	×1	3	3	
	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか				
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	個人情報の管理は適切に行われているか	×2	3	6
		安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか			
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか					
(評価の理由) 定期的な、各種設備等の点検を実施するとともに、消防設備用自家発電機及び冷温水発生機冷却塔ポンプを入れ替えた。 修繕が必要な箇所について、日常的に把握するとともに、必要に応じて市と協議を行った。					

4. 総合評価

評価点合計	68	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

本来は自立した方を対象とする措置施設であるが、入所者の高齢化が進み、介護を必要とする方が増加している。当該入所者へは、本人や家族の意向を確認した上で、特別養護老人ホームへの入居支援や、介護サービスの利用促進を図るなど、適切で細やかな配慮がなされている点が評価できる。

また、入所者一人ひとりの「個別支援計画」の作成や意見箱の更新、あるいは苦情や要望等についても、全体のホーム会議に諮るなど、個々のニーズを的確に把握し、一つひとつ丁寧に細やかな対応やサービス提供を心がけている点が評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き入所者の高齢化に合わせ、必要なサービス提供や支援等を行うとともに、個々人のニーズに応じたきめ細かいサービス提供を行うこと。
設備の老朽化等への対策としては、優先順位を付けて保守管理や修繕を行う必要がある。